

# 韓国語母語話者、中国語母語話者の「勘どころ」を押さえた記述とは

— 「スルようになる」を例に

植松容子

## ◆要旨

**本**稿は、学習者の母語により「勘どころ」（白川2002）を押さえた文法記述が異なるということ、学習者の母語との対照分析、学習者の書き言葉データ・話し言葉データにおける使用状況分析に基づいて論じたものである。韓国語は「ようになる」に相当する形式（“ge doeda”）が存在するため過剰使用が起りやすい。したがって、“ge doeda”では言えるが「ようになる」では言えない場合の例示が必要になる。一方、中国語には「ようになる」に相当する形式がないため非用が起りやすい。したがって、副詞（例「だんだん」）の付加だけでは変化は表せないこと、「始める」や「ている」と「ようになる」との違いを明示し、非用を未然に防ぐための記述が必要になる。

## ◆キーワード

韓国語母語話者、中国語母語話者、  
「ようになる」、対照分析、誤用分析

## ◆ABSTRACT

This paper discusses how the vital points of description (Shirakawa 2002) are different depending on the learner's first language, based on an analysis of Advanced JSL learner writing and speaking data. Korean speakers are more likely to overuse 'yoo-ni-naru', because Korean has a sentence pattern 'ge doeda', similar to 'yoo-ni-naru'. Accordingly, we need to show examples of when 'ge doeda' can not be translated into 'yoo-ni-naru'. On the other hand, Chinese speakers are more likely to underuse 'yoo-ni-naru' because Chinese does not have a grammatical structure corresponding to 'yoo-ni-naru'. Therefore, in order to prevent the underuse of 'yoo-ni-naru', it is necessary to explain that 'change' cannot be expressed just by using adverbs such as 'dan-dan'. And we need to teach them the difference between 'yoo-ni-naru', 'hajimeru', and 'te-iru'.

## ◆KEY WORDS

Korean Speaker, Chinese Speaker, "yoo-ni-naru",  
Contrastive Analysis, Error Analysis

What are the Vital Points of Description  
for Korean and Chinese Speakers?  
Using 'suru-yoo-ni-naru' as an example  
YOKO UEMATSU

# 1 はじめに

次の誤用をご覧ください。

- (1) 彼は交通事故で命にかかわる重大な手術を受けるようになった。  
(韓国語母語話者、『日本語誤用辞典』p.530)
- (2) 日本に行くようになる (→行ける) のチャンスを探して、日本大使館へ行って、文部省の奨学金を見つけるようになりました (→見つかることができました)。  
(中国語母語話者、『日本語誤用辞典』p.530)

これらは韓国語母語話者と中国語母語話者による「ようになる」の誤用である。「ようになる」は初級で学習する文法項目であり、市川 (2005:240) では「状態の変化」を表しますが、時間をかけて習慣・能力が身に付くという意味合いを持つことが多い」と説明されている。また、変化の含意がある動詞に「ようになる」を付加する際には、「×今日は忙しくて疲れるようになった」と言うことはできず、「○このごろちょっと働くと疲れるようになった」のように、1回性の出来事ではない場合に使用するという説明も見られる (例:『進学する人のための日本語初級教師用指導書』pp.108-109)。しかし、「ようになる」はレベルが上がっても誤用や非用が見られる<sup>[註1]</sup>。教科書や文法解説書で「ようになる」の運用上の注意が記されているにもかかわらず、誤用が生み出されるのはなぜだろうか。その理由の1つとして、「ようになる」の説明が学習者の「勘どころ」(白川2002)を押さえた記述になっていないということが考えられる。

「勘どころ」を押さえた記述とは、「「なるほど、この形式はこういう時に使うのか」と合点できるような、使用に結び付く生きた文法知識を提供すること(非用を生まない記述)であり、また、放っておけば生じかねない「勘違い」を予測して「言えそうだが言えない」表現を未然に回避すること(誤用を生まない記述)」である(白川2002:73)。「勘どころ」を押さえた記述をするための方法としては、「誤用・非用からの発想」、「対照研究からの発想」、「教材分析からの発想」(白川2002:73-76)の3つがあげられている。また、井上(2005)においても、文

法説明は学習者の母語の感覚に合わせるべきであり、そのためにも言語の対照研究を「学習目的の実現のために学習者の母語をどう考慮するか」という観点から考えることの重要性が指摘されている。

以上のことから本稿では、韓国語母語話者と中国語母語話者における「ようになる」を例に、学習者の「勘どころ」を明らかにすることを目的とする。まず、両言語における日本語の「ようになる」を含む変化の表現を整理した上で、学習者の使用状況を観察し、母語により「勘どころ」がどのように異なるのかを示す<sup>[註2]</sup>。

## 2 韓国語と中国語における変化表現の整理

### 2.1 韓国語における変化表現

日本語の「動詞+ようになる」は、韓国語において「動詞+게 되다 (ge doeda)」で表されることが多い。たとえば、『J.Bridge for Beginners Vol.2』における「ようになる」の文法解説の韓国語訳には「-게 되다 (筆者注: ge doeda)」(p.237)とある。また、韓国・国立国語院(2012:25)の見出し「-게 되다 (ge doeda)」の日本語訳は、「~するようになる、~くなる、~になる」となっている。

このように、韓国語の変化の表現については部分的には記述はあるものの、日本語と対応させた全体像は不明である。そこで、日本語を学習している韓国語母語話者3名(N1取得済み)を対象に、日本語の変化表現に対応する韓国語について、質問紙調査を行った。その結果をまとめ、日本語の研究に携わっている韓国語母語話者1名、韓国語に詳しい日本語母語話者(日本語研究者・日本語教育従事者)1名の協力を得て、表1のとおり整理した。

表1 日本語の変化表現と韓国語の表現(「되다」は網掛けで表示)

品詞	日本語例文	韓国語例文	韓国語における「되다」の使用
名詞	10時になりました	10시가 되었습니다.	名詞+가/이 되다
形容詞	顔が赤くなりました	얼굴이 빨게졌습니다.	形容詞+게 되다、 形容詞+어/아/여지다
ことになる	来年結婚することになりました	내년에 결혼하게 되었습니다. [註3]	動詞+게 되다
ようになる	日本に来てから、料理をするようになりました	일본에 와서, 요리를 하게 되었습니다.	

表1を見ると、形容詞のみ「어／아／여지다」という形式が使われることがあるが、全てに共通して「되다 (doeda)」という形式が使われることが分かる。特に注目すべきなのは、「ことになる」と「ようになる」が同じ形式で表されているという点である。

## 2.2 中国語における変化表現

中国語において、変化は「了」で表される。中国語の「了」には2種類あり、「了<sub>1</sub>」は動詞の後ろにつけて動作の完了を表し、「了<sub>2</sub>」は文末に置き、事態に変化が起きたこと(起きること)を認めて文を完結する働きを持つ(呂主编1992)。また、植松(2016:30)によると、「ようになる」文が日本語教科書の中国語対訳版および中国で発行されている日本語の教科書においてどのように翻訳されているかを調査した結果、採取した23例のうち16例(70%)に「了」が使われているとのことである。しかし、中国語においても「変化表現」としてまとめられた記述は管見の限り見当たらない。そこで、日本語を学習する中国語母語話者(N1取得済み)4名に、日本語の変化表現に対応する中国語について質問紙調査を実施し、日本語の研究に携わっている中国語母語話者1名の協力を得て、日本語と中国語の変化表現について表2のとおり整理した。

表2 日本語の変化表現とそれに対応する中国語の表現(「了」は網掛けで表示)

品詞	日本語例文	中国語例文	中国語における「了」の使用
名詞	10時になりました	十点了.	文末に「了」
形容詞	顔が赤くなりました	脸变红了.	
ことになる	来年結婚することになりました	我们决定明年结婚.	「了」は使われていない
ようになる	日本に来てから、自分で料理をするようになりました	来了日本之后, 开始自己做饭了.	文末に「了」

表2を見ると、「ことになる」以外の例には全て「了」が使われている<sup>[註4]</sup>。木村(1997:169)においても「了」は「一定量のまとまりをもった限界性のある動作が完遂された段階や、何らかの具体的な変化が実現に至った段階」において使われることにより、「完了」を意味すると説明されている。

ただし、注意しなければならないのは、表2は全てタ形であり、「ことになる」以外の例において、当該事象は発生済みであるという点である。その点も

考慮し、質問紙調査の時点では非過去形(「～る」)の文も入れていたのであるが、非過去形でも文末に「了」が現れることが多いことが分かった。たとえば、「眼鏡をかければ、黒板の字が見えるようになります」の場合は「如果戴眼镜的话, 就能看见黑板的字」と文末に「了」が現れないが<sup>[註5]</sup>、「赤ちゃんは1歳を過ぎると、歩けるようになります」は「婴儿满了一岁的话, 就会走路了」、「毎日練習すれば、自転車に乗れるようになります」は「每天练习的话, 就会骑自行车了」というように、非過去形でも文末に「了」が現れる。

## 3 調査方法

本研究の目的は「レベルが上がっても適切に使用することが難しい初級文法項目を対象に、学習者の「勘どころ」を押さえた記述を考える」ことである。そのため、初級や中級ではなく上級学習者を対象にすることにした。また、調査にあたっては書き言葉と話し言葉の両面から見ていくことにした。

書き言葉の調査には、金澤編(2014)「YNU書き言葉コーパス」を使用した。「YNU書き言葉コーパス」とは、日本人大学生30名と留学生60名(韓国語母語話者、中国語母語話者それぞれ30名)に対し、12種類のタスクを課すことによって得た計1080編の作文を、コーパスの形にまとめたものである。留学生60名のレベルは、中国語母語話者30名のうち26名(87%)がN1取得済みでSPOTの平均点は61.3点、韓国語母語話者30名のうち19名がN1取得済みでSPOTの平均点は63.1点である<sup>[註6]</sup>。学習者による書き言葉コーパスは他にもあるが、本研究で「YNU書き言葉コーパス」を使用した理由は、「現実であり得るタスク(言語活動、読み手、文章のスタイル、など)を与えた作文になっている」ためである<sup>[註7]</sup>。日本語学習者の産出における問題点を探るためには、できる限り実生活における言語運用を意識した課題設定になっていることが望ましい。その点において本コーパスは、使用実態を探るのに適していると言えよう。

話し言葉の調査には、国立国語研究所による「日本語学習者会話データベース」を使用した。「日本語学習者会話データベース」とは、日本語学習者と日本語母語話者である面接者(インタビュアー・テスター)による、1データあたり約30分の会話を集めたものである。全てのデータにOPIによるレベル判定が

なされており、学習者の日本語レベル、年齢、性別、出身国、母語、職業、日本滞在期間等からデータの検索ができるようになっている<sup>[注8]</sup>。本研究では上級学習者の使用を観察するため、OPIの判定結果が上級下・上級中・上級上・超級の者という条件設定をした。その結果、韓国語母語話者69名、中国語母語話者21名のデータを観察対象とすることになった。

なお、データの整理にあたっては、植松(2014, 2016)において「可能形+ようになる」よりも「辞書形+ようになる」が問題になると指摘されていることから、「ようになる」に前接する形式別に整理を行った。

## 4 韓国語母語話者における「ようになる」の使用状況

### 4.1 データの概観

韓国語母語話者の書き言葉・話し言葉における「ようになる」の使用状況(正用・誤用)をまとめると表3のようになる。YNU書き言葉コーパスにおいて韓国語母語話者は「ようになる」を計42例使用しており(植松2014: 341-343)、このうち否定形接続は3例であった。したがって、書き言葉は総数の42例から否定形接続の3例を除いた39例を対象とした。また、日本語学習者会話コーパスにおいて韓国語母語話者は「ようになる」を34例使用しており、このうち否定形接続は5例であった。したがって、話し言葉は総数の34例から否定形接続の5例を除いた29例を対象とした。

表3 韓国語母語話者における「ようになる」の使用状況

		正用数	誤用数	合計
辞書形接続	書き言葉	13	14	48
	話し言葉	12	9	
可能形接続	書き言葉	12	0	20
	話し言葉	8	0	
合計		45	23	68

表3からは2つのことが指摘できる。1点目は、辞書形接続の使用が多いこ

とである。使用総数68例のうち、48例(71%)が「辞書形+ようになる」の形で使用している。植松(2012a)では日本語教科書に提出される例文のうち、約80%が「可能形+ようになる」であったことを報告しているが、それとは異なる傾向であることが分かる。2点目は、誤用は辞書形接続に多く、可能形接続には現れていないことである。辞書形接続は使用総数48例のうち23例(約48%)が誤用であるのに対し、可能形接続は使用総数20例全てが正用である。そこで、以下では「辞書形+ようになる」に焦点を当ててみていくことにする。

### 4.2 韓国語母語話者における「辞書形+ようになる」の正用と誤用

誤用を観察する前に、「辞書形+ようになる」の正用例を見ておきたい。正用例25例を動詞の性質に注目して観察すると、「分かる」「思う」「考える」等の思考や理解を表す動詞に「ようになる」を接続させている例(= (3))が13例と約半数を占める。

#### (3) 【話し言葉・正用】

(テスターから、友達というのはどういう存在かと問われて)

I: んー、そうですねー、あそれは、年をなるっいつも考えが変わりまっす(中略)本気で、んー相手を考える、深い関係がほんとうの友達じゃないかなと、思うようになりました。(K0158)

次に誤用を観察してみると、2つのパターンがあることに気づく。1つは、動作動詞に「ようになる」を付加して1回性の出来事を表したために誤用になるパターンである。

#### (4) 【話し言葉・誤用】

(テスターから自己紹介をするように促されて)

I: (前略) そのあと、会社を辞めて、日本、語を勉強しながら、あ、におーんについてあのこきしんが、できて、んー、におんに来る、ようになって、今日本で勉強しています。(K0159)

### (5) 【書き言葉・誤用】

(必要な文献が図書館になく、友人が持っていることを知ったので、貸し出し依頼のメールを書くというタスクで)

レポートを書くのに必要なんですが、図書館にはなかったので、困っていたところ周りの人から鈴木さんは持っているということを知り、連絡するようになりまし

(Task2, K012)

もう1つは、進展的な事態を表す動詞句に「ようになる」を付加したために誤用になるというパターンである(= (6)、(7))<sup>[註9]</sup>。これらは「年を取る」、「ナベが沸く(沸騰する)」という無意志的な事態であり、「～てくる」で言い換えることができる。「ようになる」運用上の注意点として、「もともと変化を表す意味を持つ動詞はこの文型では使わない」(『みんなの日本語初級II教え方の手引き』p.110)という説明はよく見られるのであるが、このような誤用は上級レベルになっても産出されるようである。

### (6) 【書き言葉・誤用】

(教員に対して早期英語教育についての意見を表明するというタスクで)

人はどどん年を取るようになって記憶が下がる一方で勉強したくても他の要因によってできない場合は、多いからです。

(Task10, K005)

### (7) 【書き言葉・誤用】

(自分の国の代表的な料理を紹介するというタスクで)

ナベが沸くようになったら、ニンニク、長ネギ、玉ネギを入れ、フタを閉じてから加熱し続けます。

(Task9, K005)

## 5 中国語母語話者における「ようになる」の使用状況

### 5.1 データの概観

中国語母語話者の書き言葉・話し言葉における「ようになる」の使用状況(正用・誤用)をまとめると表4のようになる。YNU書き言葉コーパスにおいて中

国語母語話者は「ようになる」を計25例使用している(植松2016: 32)。この25例には否定形接続が見られなかったため、25例全てを分析対象とした。また、日本語学習者会話コーパスにおいて中国語母語話者は「ようになる」を7例使用していた。この7例から否定形接続の1例を除き、計6例を分析対象とした。

表4 中国語母語話者における「ようになる」の使用状況

		正用数	誤用数	合計
辞書形接続	書き言葉	11	3	20
	話し言葉	2	4	
可能形接続	書き言葉	11	0	11
	話し言葉	0	0	
合計		24	7	31

表4を見ると、中国語母語話者も韓国語母語話者と同様に「辞書形接続の使用が多い」、「誤用は辞書形接続に多く、可能形接続には現れていない」という傾向が観察できる。

### 5.2 中国語母語話者における「辞書形+ようになる」の正用と誤用

誤用を観察する前に、「辞書形+ようになる」の正用例を見ておきたい。正用例13例における「ようになる」に前接する動詞の性質に注目した場合、韓国語母語話者と異なるのは、動作動詞の場合も正しく使っている例(= (8))が9例見られることである。

### (8) 【書き言葉・正用】

(国を代表する料理を1つ選んでその作り方を紹介するというタスクで)

数百年前から中国人が餃子を食べるようになった。

(Task9, C047)

次に誤用を観察してみると、誤用例が7例と少ないこともあり、韓国語母語話者に見られたような一定の傾向は見出しにくい。ただ、韓国語母語話者と誤用の傾向が異なることは言える。韓国語母語話者は【動作動詞に「ようになる」を付加して1回性の出来事を表した誤用】と【進展的な事態を表す動

詞句に「よくなる」を付加した誤用】という2つのパターンが見られたが、中国語母語話者の誤用には同様のパターンは見られない。強いて言えば、【知覚や思考を表す動詞に「よくなる」を付加して1回性の出来事を表した誤用】が5例ほど見られる。

#### (9) 【書き言葉・誤用】

(教員から早期英語教育に対する意見を聞かせてほしいというメールがあり、その返信メールに)

話を聞いて、すごく興味が持ちよくなりました。私は個人的に賛成です。(Task10, C013)

#### (10) 【話し言葉・誤用】

(テストに大学院に進学するつもりがあるかどうか問われて)

I: んー、わからないですねー、今、まあこれからもその、まあもつと調べて、知るよくなって、まあ決めるつもりです。(C0311)

(9) はメールの返信という状況設定であるため、通常は、早期英語教育についての話を聞いてからそれほど時間がたっていないと考える。たとえば、「1か月前に話を聞いて、それ以降ずっとそのことを気にかけて情報収集をしている」という状況設定であれば、「(あの時に)話を聞いて、(徐々に)興味を持つよくなりました」と言うことは自然であるが、(9)の状況においては、「よくなる」を使わずに「興味を持ちました」と言うのが自然である。また、(10)は「知るよくなって」ではなく、「よく知ってから」と言うのが自然である。

### 5.3 中国語母語話者における「よくなる」の非用

韓国語母語話者は話し言葉の対象データ69名中21名(30%)が「よくなる」を使用していたのに対し、中国語母語話者は話し言葉の対象データ20名中3名(15%)しか「よくなる」を用いていない。植松(2016: 32-34)において、中国語母語話者の書き言葉に「よくなる」の非用が観察されることが指摘されているが、会話データにおいても同様の傾向が見られることが予想できる。そこで、話し言葉において「よくなる」の使用が見られなかった中国語母語話者

17名の会話データ全てに目を通し、「よくなる」の非用を観察した。その結果、17名中8名に「よくなる」の非用と判断される例が見られた。「よくなる」の非用の特徴、すなわち「よくなる」の代わりにどんな形式を用いているかを観察した結果、次の3つの特徴が観察された。

1つは、「ている」の使用である。植松(2016)で、中国語母語話者は「よくなる」の代わりに「ている」を使用する場面があることが指摘されているが、今回の調査でもその結果が支持されたと言える<sup>[注10]</sup>。

#### (11) 【話し言葉・非用】

(テストから日本語学習について聞かれて)

I: (前略) あとは、日本語がっこに入って、一生懸命勉強してあの一  
とんと日本語なれてますから (→慣れてきましたから/話せるよ  
くなりましたから) (C0198)

2つ目は、動詞「始める」の使用である。たとえば「料理を作るようになった」というのは「料理をすることを始めた」と言い換えることができるため、一種の類似表現であると言える。このような例は合計3例見られた。

#### (12) 【話し言葉・非用】

(食事について聞かれて)

I: 料理は、んー、スーパーで野菜を買って、自分の、寮のキッチン  
で作ります

T: わーすごいですね

I: いいえ日本へ来てから {笑} 始めたんですけど (→作るようになった  
んですけど) (C0134)

3つ目は、副詞「だんだん」の使用である。(13)は、「できる」ではなく「できるようになった(あるいは「できるようになってきた)」とする必要がある。もしこの文から副詞「だんだん」を除けば、「最近ほとんどの人が大学に入ることができる」のように、「よくなる」を付加せずに言うことができる。し

かし、(13)のように「だんだん」を使って漸次的な変化を表す場合は、文末に「よくなる」等の変化を表す表現を付加する必要がある。

(13) (大学への進学率について話していて)

I : (前略)でも最近はだんだん、たぶんほとんどの人は大学、大学に入ることができる(→できるようになった)、だから、たぶんみんなはそう思わないと思います (C0306)

## 6 結果と考察

### 6.1 韓国語母語話者の「勘どころ」を押さえた記述をするために

韓国語母語話者は辞書形+「よくなる」の使用が多く、誤用も多い。その誤用を観察すると、【動作動詞に「よくなる」を付加して1回性の出来事を表した誤用】と【進展的な事態を表す動詞句に「よくなる」を付加した誤用】という2つのパターンが見られた。これらは、日本語の教科書や文法解説書において注意事項として記述されているにもかかわらず、誤用が発生している。これらの誤用の背景には、韓国語における「よくなる」に相当する「-게 되다 (ge doeda)」の振る舞いが関係していると考えられる。韓国語の「-게 되다 (ge doeda)」は「よくなる」と重なる部分もあるが、「よくなる」よりも表せる範囲が広い。たとえば、「様々な経緯を経て、それをするという運びになった(例「先生にメールを送るようになりました」)」ということや、「それをするしかなかった(例「会社を辞めるようになった」)」ことなどの1回性の出来事も表すことができる(植松2012b)。

したがって、韓国語母語話者の「よくなる」の誤用を防ぐためには、韓国語の「-게 되다 (ge doeda)」の感覚だと言えそうな例をあげ、日本語においては「よくなる」が使えないことを明示するなどの工夫が必要になるだろう。

### 6.2 中国語母語話者の「勘どころ」を押さえた記述をするために

中国語母語話者における「よくなる」の使用状況の特徴的な点として、使

用数の少なさがあげられる。そこで、第5節で中国語母語話者が「よくなる」の代わりに何を使用しているか分析した結果、「～ている」の使用、「始める」の使用、「だんだん」等の副詞を使用する傾向があることが分かった。この結果から、中国語母語話者は「どんな時に「よくなる」を使用する必要があるのか」が分かりにくいと言える。そのため、副詞という目に見えやすい形(「だんだん」)で漸次的な変化を表したり、変化の開始(「始める」)や変化後の状態の描写(「～ている」)によって変化を表そうとするのではないだろうか。

では、なぜ中国語母語話者にとって「よくなる」は分かりにくい表現なのだろうか。その要因の1つとして考えられるのが、中国語に「よくなる」に相当する形式がないことである。2.2で見たように、日本語の「よくなる」は中国語の「了<sub>2</sub>」で表される場合が多いことに加え、必ずしも「了<sub>2</sub>」が表示されるとは限らない。それゆえ、現状の「よくなる」の説明では「なぜ「よくなる」を使わなければならないのか」が分かりにくく、非用が起こるのではないだろうか。

したがって、中国語母語話者の「勘どころ」を押さえた記述をするには、「よくなった」と「始めた」を類似表現として記述することや、「よくなる」の文法説明をする際に、漸次的な変化であることを目に見える形で示しやすい副詞「だんだん」を一緒に取り上げ、文末に変化表現が必須となることを示すなどの工夫が必要になるだろう。

## 7 おわりに

本稿では上級の韓国語母語話者と中国語母語話者における「よくなる」を例に、母語の情報・使用状況の分析に基づいて、学習者の「勘どころ」(白川2002)は母語によって異なることを具体的に示した。日本語教育の教材は、教科書や教師用指導書、文法解説書などが充実してきているが、まだ学習者の「勘どころ」を押さえた、運用に結び付きやすい記述になっているとは言い難い。学習者の母語や使用状況(正用・誤用のパターン、非用の場合は代わりに何を使用しているのか)を分析することにより、日本語母語話者には気づくことができない学習者の視点を発見することができる。そしてその「勘どころ」を文法記述

に反映させることにより、白川 (2002: 79) でも述べられているように、日本語教育のみならず日本語学にも寄与することができると考えられる。今後は、本稿で明らかにした「ようになる」の「勘どころ」に基づいて文法記述を試み、学習者の反応を調査して、運用に結び付く記述の具現化に向けて進めていきたい。

〈昭和女子大学〉

#### 謝辞

本稿の執筆にあたり、調査にご協力くださった方々に感謝申し上げます。また、韓国語については金蘭美氏 (横浜国立大学) と永谷直子氏 (相模女子大学) に、中国語については熊鷹氏 (北京郵電大学) にチェックしていただいた。記して感謝申し上げます。本研究は、JSPS25770192 の成果の一部である。

#### 注

- [注1] …… 非用というのは当該文法項目を使用しないこと、表面化しない誤用例のことを表す (水谷1985: 14)。非用も誤用の1つとして捉えることも可能だが、本稿では当該文法項目を不適切に使用しているものを誤用、当該文法項目を使用しないもの (意識的か否かは問わない) を非用として区別する。
- [注2] …… 本稿では、学習者の母語を学習者情報の1つと捉え、母語における振る舞いを文法記述に有効に反映させるという目的で対照分析を行う。したがって、学習者の母語の転移の有無については立ち入らない。
- [注3] …… 韓国語母語話者への聞き取り調査によると、これは非文とは言えないが、自分のことを報告する際には使わないとのことである。たとえば、ある人物の経歴を述べる (～という経緯により、〇〇年に結婚することになった) 場合など、状況設定によっては自然になるとのコメントが得られた。
- [注4] …… 査読者の方から「日本に来てから、自分で料理をするようになりました」を「来日本后就一直自己做飯」のように「了」を使わずに表せるという指摘を受けた。ここでは、あくまでも今回の調査において「了」を付加した人が多かったという事実を示しているに過ぎず、「ようになる」が必ず「了」で翻訳されるわけではないという点に留意する必要がある。
- [注5] …… 中国語母語話者によると、文末に「了」を入れても自然なようである。
- [注6] …… SPOT とは筑波大学留学生センターが開発した、日本語の運用能力を測る言語テストのことである。詳細は<http://ttbjpn.org/>を参照されたい。
- [注7] …… 本コーパスの特徴の詳細は金澤編 (2014: 5-6) を参照されたい。

- [注8] …… OPI とは Oral Proficiency Interview の略で、ACTFL (The American Council on the Teaching of Foreign Language) が開発した口頭遂行能力を測るテストのことである。詳細は<http://www.actfl.org/>を参照されたい。
- [注9] …… 進展的な事態とは、「変化前の状態が連続的につながっているものと捉えられるタイプ」(安達1997: 72-73) の変化のことを指す。安達 (1997) において、進展性の有無は「だんだん」のような副詞との共起、「てくる」との共起が自然かどうかで判断している。
- [注10] …… 植松 (2016: 32-34) ではYNU書き言葉コーパス (金澤編2014) において日本語母語話者30名中18名 (60%) が「ようになる」を使用していた文脈を例にとり、同じ文脈を中国語母語話者と韓国語母語話者がどのように表しているのかについて分析している。その結果、中国語母語話者にはのみ「ている」の使用が見られたとのことである。

#### 参考文献

- 安達太郎 (1997) 「「なる」による変化構文の意味と用法」『広島女子大学国際文化学部紀要』4, pp.71-84. 広島女子大学
- 市川保子 (2005) 『初級日本語文法と教え方のポイント』スリーエーネットワーク
- 市川保子 (編著) (2010) 『日本語誤用辞典』スリーエーネットワーク
- 井上優 (2005) 「学習者の母語を考慮した日本語教育文法」野田尚史 (編) 『コミュニケーションのための日本語教育文法』pp.83-102. くろしお出版
- 植松容子 (2012a) 「日本語教育における「ようになる」の扱い—韓国語母語話者を対象とした文法記述のために」『学苑』864, pp.30-37. 昭和女子大学
- 植松容子 (2012b) 「「ようになる」の文法記述—韓国語母語話者を対象とした場合」『日本語／日本語教育研究会第4回大会発表予稿集』pp.44-51.
- 植松容子 (2014) 「韓国語母語話者における動詞変化構文の使用状況—母語の感覚に合う記述のために」金澤裕之 (編) 『日本語教育のためのタスク別書き言葉コーパス』pp.329-251. ひつじ書房
- 植松容子 (2016) 「中国語母語話者は「ようになる」と何を類義表現として捉えるか—対照研究と誤用観察から分かること」『学苑』910, pp.27-36. 昭和女子大学
- 金澤裕之 (編) (2014) 『日本語教育のためのタスク別書き言葉コーパス』ひつじ書房
- 韓国・国立国語院 (2012) 『標準韓国語文法辞典』アルク
- 木村英樹 (1997) 「動詞接尾辞“了”の意味と表現機能」『大河内康憲教授退官記念 中国語学論文集』pp.157-179. 東方書店
- 白川博之 (2002) 「記述的研究と日本語教育—「語学的研究」の必要性と可能性」『日本語文法』2(2), pp.62-80.
- 水谷信子 (1985) 『日英比較 話しことばの文法』くろしお出版
- 呂叔湘 (主編) (1992) 『中国語文法用例辞典—《現代漢語八百詞増訂本》日本語版』東方書店

## 参考資料

小山悟（2008）『J.Bridge for Beginners Vol.2』 凡人社

スリーエーネットワーク（編著）（2001）『みんなの日本語初級II 教え方の手引き』 スリーエーネットワーク

国際学友会日本語学校（編）（1997）『進学する人のための日本語初級教師用指導書』 国際学友会